

新型コロナウイルス感染症対策について

※【来園されるお客様へのお願い】については須坂市動物園HPよりご覧ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、動物ガイドなどを中止しています。

今月のおしらせ

8月1日(土)・8日(土)・14日(金)・15日(土)・
22日(土)・29日(土)

【サタデー・ナイト・ズー】

☆開園時間を21時まで延長します！☆
(※入園は20時30分まで)

8月11日(火)※予定

【ハッチのお墓参り】

※新型コロナウイルス感染症対策のため、
今年は職員のみでおこないます。



南園に新しい動物が仲間入りしました

6月5日にトカラヤギのオス、「ひまわり」くん(仮)・3歳と

6月15日にトナカイのオス、「元気」くん・4歳が新しく仲間入りしました。

トカラヤギのひまわり君は5月に来たメスの「さくら」ちゃん(仮)と南園のシカ舎で同居しています。トナカイの元気君は南園のトナカイ舎にいます。トナカイは現在オスメスお見合い状態で飼育しています。どちらも2世の誕生を期待していますので、みなさんも楽しみにしてください。

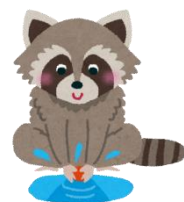
※名前の(仮)は改名予定の為つけてあります。名前の募集が始まったらいい名前を考えてくださいね。

保護された猛禽類たちの飼育

飼育している猛禽類の中で、トビ、ハヤブサ、ノスリはケガをして野生に戻れず、動物園で暮らすことになった鳥たちです。脚の病気になりやすいので、そうならないように獣舎に工夫を凝らしています。

ハヤブサ、ノスリの獣舎には、止まり木の代わりに「シカの角」が設置してあります。シカの角はゴツゴツしているのですが、そこに止まると足裏のマッサージになり、脚の病気の予防になります。また、トビの獣舎にも人工芝を敷いて足にかかる負担を軽減したりしています。もっと近くで観察できるように通路側の近くに台を設置したり、トレーニングも行なっているので、ぜひ見に来て下さい。

飼育ふれあい係 笹島優里華



「アライグマ、昼寝る理由」

開園中、アライグマたちが寝ていても来園者のみなさんはあまり残念な様子ではないようです。大抵「夜行性だから寝ているね」と納得した声が聞こえます。みなさん大正解！アライグマは夜行性動物です。ところで夜行性動物がどうして【夜行性】なのか知っていますか？夜に活動するといふことがあるので夜に活動しているのです。アライグマは食肉目に分類され、ネズミや昆虫・魚・水生生物等を捕食します。ネズミは夜間に活動することが多いためアライグマはその時間を狙って活動をしています。目には暗い中でも見ることのできる仕組みがあります。網膜の後ろにタペタムという反射板の作用をする膜があり、わずかな光を反射して物を見ることができます。暗闇で光る猫の目と同じくアライグマの目も光って見えます。そんな様子を「サタデー・ナイト・ズー」で見られます。開催中には照明に反射して光る目の様子を観察してみてください。ちなみに...昼間全く起きないわけではありません。木の実や果実などを食べるために日中に活動することもあります。

飼育ふれあい係 笹井恵



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL 026-245-1770 Fax: 026-248-1793

